あすから高校生販売甲子園

商品化目指して動画で売り込め

オンラインで7校出場

高校生が商品の企画、販売方法などを競い合う「熱血！高校生販売甲子園」が、20日からオンラインで開かれる。今年は県内7校から1チームずつ出場。各チームは企画した商品のプレゼンテーションを動画で配信し、視聴者の投票で優勝を決める。

「高校生販売甲子園」のチラシ

大会は例年、高崎市の大手前通りで〝店〟を構えて商品を販売していたが、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった。2年ぶりの開催となる今回のテーマは「With CORONA With Community（ウィズ・コロナ・ウィズ・コミュニティー）」。

今回は各チームがスイーツやハンバーガーなどの商品を企画し、プレゼンを事前に収録。動画配信サイト「ユーチューブ」を使い、20日に3チーム、21日に4チームがそれぞれ配信する。視聴者は23日までの投票期間中、グーグルフォームを使って気に入ったチームに投票する。投票は1回のみ。28日に配信で結果を発表し、優勝チームの企画が商品化される予定。

高崎経済大の学生でつくる実行委が運営する。プレゼンの視聴は販売甲子園の公式ユーチューブチャンネル＝QRコード＝から。問い合わせは実行委にメール（hanbaikoshien@gmail.com）で。

（平山舜）

2021.11.19. 上毛新聞 地域欄